

平成 26 年 11 月 4 日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

無錫市新区からの友好都市提携 5 周年 記念品について

市では、平成 26 年 10 月 20 日、中国無錫市で開催された第 7 回無錫市国際友好都市交流会に出席するため、市長他 2 名で無錫市を訪問しました。訪問期間中、友好都市である無錫市新区へも訪れ、学校やコニカミノルタ等を視察し、友好都市提携 5 周年記念として、浮き彫りガラス工芸品を受領しました。

記

1. 訪問者

豊川市長山脇実・市民部長伊藤充宏・市民協働国際課伊藤真也（通訳）の 3 名

2. 訪問日

平成 26 年 10 月 20 日（月）から 23 日（木）まで

※無錫市新区へは、22 日の午後から訪問し、友好提携 5 周年記念を受領しました。

3. 友好都市提携 5 周年記念記念品「浮き彫りガラス工芸品」について

浮き彫りガラス工芸は中国の清王朝時代に始まり、熱いガラスの土台（透明なガラス）に色の付いたガラスを接着し、何層もの着色をするもの。

今回受領した浮き彫りガラス工芸品に描かれている絵は、清明上河図（せいめいじょうがず）と言い、中国北宋の都「開封」のにぎわい栄えた様子を描いたもの。オリジナルの作品（絵）は、縦 24.8 センチ、横 52.7 センチで北京の故宮博物館に所蔵されている。この浮き彫りガラス工芸品（清明上河図【せいめいじょうがず】）

は、高さ 55 センチ、直径 25 センチの大きな花瓶である。清明上河図の中の北方に輸送する部分を選んでおり、原画の 8 分の



山脇市長

記念品

許剛書記



1のサイズである。

作者は、鄧陳東で、中国浮き彫りガラス芸術の巨匠と呼ばれ、中国の数多くの博物館の設計に携わっている。90年代後期より、浮き彫りガラス工芸の創作と研究に勤しみ始めた。彼の作品は軽工業部門より「最高賞」を、また芸術協会より「創作賞」を受賞した。

※第7回無錫市国際友好都市交流会とは、無錫市が2年に1度開催しており、無錫市等が提携する友好都市が一堂に集まるもの。今回は、無錫市政府より招待状が届いて出席した。参加国は24か国49都市及び団体、約250人が参加。今年が7回目で、豊川市は提携前の6年前に参加したことがある。日本からの参加都市は無錫市と友好都市の明石市、相模原市、由利本荘市、無錫市濱湖区と友好都市の松阪市など8都市1団体。

【お問合せ先】

豊川市役所 市民部 市民協働国際課 小林、辻

TEL:0533-89-2158 Eメール: kyodokokusai@city.toyokawa.lg.jp